



学びの深まりを感じる秋



今年の秋は、ここまで比較的暖かい日が多かったのですが、それでも学校の周りの木々は、季節を知り、実をつけ、葉を色づかせています。実りの秋真っただ中で、豊穰の時を迎えています。この時期、子供たちの成長も大いに感じられました。

▶ 先日の**学習発表会**には、たくさんのご家族、地域の方々よりおいでいただきありがとうございました。

子ども達が日々の学びの中で身につけた力を、様々な表現方法で発表することに取り組みました。真剣な表情、精一杯の姿、また子供らしい素直でかわいらしい面を随所で観ていただけたことと思います。当日の発表の陰には、それまでの様々な学習を通して、理解を深め技能を身につける努力をする学習がありました。そして何より、共に一つの成果を創り上げていく友達との心の支え合いを育てる活動がありました。子供たちは**“団結”**する気持ちよさ、大切さを学んだことと思います。会場の皆さんからも、こうした西郷小での日々の学習の積み重ねを感じ取っていただけたのではないのでしょうか。これからも、わかるようになる・できるようになるまでの**“過程”**を大切に、友達との関わり中で学ぶ教育活動を行っていきます。



▶ また、学習発表会の終わりの場で、**ボランティアの活動**について児童会からお知らせとお願いがありました。「来春の新生入生、地域の方々喜んでいただけるように花を植えてみたい」というものです。ボランティア活動で何を行うかという話し合いでは、ゴミ拾いなどの学校内での活動を考えがちだったのですが、これからの子どもたちには、「誰のために何ができるか」、「地域・社会のために何をしたらいいのか」という高い志と、広い視野が身につくような体験活動が大切とされています。そうしたことから発想され、運営委員会から新たに**“創造”**され提案された取り組みです。子供たちの願いが形となることを楽しみにしています。

西郷小では、低学年の生活科、3年生以上の総合的な学習の時間を使って、保護者・地域の方々のご協力により、地域に関わる農作物・自然環境について学習をしています（間もなく作物の販売も予定されているようです）。豊かな自然環境、人的なご協力があればこそその教育課程（教育の内容計画）となっています。

次年度からは、新学習指導要領が完全実施となり、プログラミング教育など新しい教育も入ってきます。新しい学習内容と西郷だからできる学習内容がバランスよく実施できるように、今後、地域・保護者の方々との話し合いを重ねる場を設定しながら、子供たちにとってより良い内容となるよう次年度の計画作りを行う予定です。

